



～命と人権を守る心の教育～ 「いのちのコンサート」

校長 野尻 史子

6月10日土曜日、道徳授業地区公開講座として、全学級の道徳授業公開とともに、3校時には体育館で、「いのちのコンサート」を開催しました。当日は、たくさんの保護者の皆様、学校評議員の方々にもご参加いただき、ありがとうございました。

ゲストにお招きした 緑川 るみ先生は、数多くの演奏家やオーケストラと共演。NHK・FMリサイタル、NHKドラマなど 多数のステージ、コンサート、放送メディア等でご活躍でしたが、頭部に腫瘍が見つかり、頭蓋骨を開き50針以上縫うという大きな手術をご経験されました。手術前は、もうピアノが弾けなくなるかもしれないと悩み、手術が成功裏に終わった後はリハビリが苦しく心が折れそうなこともあったと伺いました。

けれども、ご家族、特にご子息や今回いっしょにゲストとしておいでいただいた妹さんご夫妻に励まされ支えられて、現在のようにまた演奏活動を再開できるまでにお元気になりました。音楽の力、ご家族の支えとともに、るみ先生ご自身の「あきらめない心」があったからこそその回復だと、ただただ敬服するのみです。

「みんなのために一生懸命練習してきたので、いっしょに歌ってくださいね。」という、るみ先生の言葉で「紅蓮華」（「鬼滅の刃」より）の曲が流れ、コンサートが始まりました。はじめのうち戸惑っていた子供たちですが、徐々にピアノに合わせて歌声が広がりました。会場の体育館が、一瞬にしてコンサートホールに変わったのを感じました。

ソングスタイリスト ケン アマドさんの「大切なもの」は、歌詞もとてもすばらしく、子供たちは静かに聴き入っていました。そして、その歌声やお話に表れるお人柄に、子供たちはすっかり魅了されていました。

最後に歌っていただいた緑川まりさんの「ユー・レイズ・ミー」は、すばらしい声量で、体育館の空気も私たちの心も、正に震えました。子供たちの中には、その歌声に引き込まれて、じっとまりさんを見つめている姿もありました。

全校で「元気 勇気 ちから」を歌う前に、まり先生から発声について、立ち方、姿勢、高い声の出し方など教えていただきました。歌うのが大好き、いつも素敵な歌声を聴かせてくれる岩淵小の子供たちですが、この日の会場が一つになった歌声はとびきり響いて感動的でした。

また、コンサートでのるみ先生のお話には、「手術の後、妹とケンちゃんが、私をコンサートに誘ってくれて、本当にたくさんピアノを弾きました。初めは指が思うように動かず練習は大変だったけれど、そうしてたくさん人の前で弾いているうち、だんだん元に戻ってきました。」「私は病気になり大きな手術をしたので、頭の中にはボルトもたくさん入っています。でも、外側からはそういうことは見えません。体が弱っていることや、何か困っていることは外から見えないから、少しのことでつらくなる人がいます。でも、いつでも誰にでもやさしくしていればそういうことにはならない、ということですよ。」とありました。すばらしい音楽とともに子供たちがいただいたのは、「あきらめず最後までがんばることのよさ」や、「人を思いやることの大切さ」です。こうしたメッセージが、素敵なピアノの音色や歌声とともに、子供たちの心にずっと残ることにより、がんばる力、思いやりの心が育ってほしいと考えます。



あと3週間で夏休みを迎えます。夏休み中、子供たちは学校を離れご家族と過ごす時間が多くなります。この夏はコロナの制限が緩和され、人や物事との出会いの機会が増すことでしょう。健康で楽しく夏休みを過ごし、記憶に残る素敵な思い出ができますように、と願っています。